

報道関係者 各位

**奥能登国際芸術祭2020 最涯の芸術祭、美術の最先端。
企画公募173点を受付。第2弾参加アーティストは12月に発表予定。**

石川県珠洲市を舞台に2020年秋に開催される「奥能登国際芸術祭2020」に向け、珠洲の自然・歴史・文化・風土・景観などを活かしたアート作品およびプロジェクトを募集したところ、国内外から173点の応募がありました。

結果は2019年12月頃に公式WEBサイトにて、掲載を予定していますので、お知らせいたします。

2017年の奥能登国際芸術祭の公募作品は、かつての船小屋、銭湯、保育所などで展開され、珠洲の忘れられていた場所が活性化されました。2020年の開催に向け地元の期待も高まり、たくさんの作品会場が候補にあげられています。

つきましては、貴媒体への掲載や取材をご検討いただければ幸いです。



【企画公募概要】

公募受付期間：2019年10月17日(木)－10月31日(木)

選考：10点程度の採用を予定

審査員：北川フラム（奥能登国際芸術祭総合ディレクター）

結果発表：2019年12月頃に公式WEBサイト（oku-noto.jp）へ掲載予定

【企画公募受付数】

・受付数 173点

・企画者(代表者)現住所別

国内 151点

海外 22点（中国、台湾、香港、韓国、フランス、ベルギーなど。前回(2017)比 2.0倍）

①東京都 40点、②石川県 30点、③神奈川県 19点、④京都府 13点

【奥能登国際芸術祭2020 開催概要】

会期：2020年9月5日(土)－10月25日(日) 51日間

会場：石川県珠洲市全域

アート作品・プロジェクト数：約40点(予定) ※うち公募企画10点程度

第1弾参加アーティスト（2019年7月31日現在）：

青木野枝(日本)、大岩オスカル(ブラジル)、カールステン・ニコライ(ドイツ)、金氏徹平(日本)、カルロス・アモラレス(メキシコ)、キムスージャ(韓国)、サイモン・スターリング(イギリス)、さわひらき(日本/イギリス)、スボード・グプタ(インド)、原広司(日本)、ひびのこづえ(日本)

ご取材・広報についてのお問い合わせ

奥能登国際芸術祭実行委員会事務局 担当：灰庭、小菅
〒927-1214 石川県珠洲市飯田町13部120番地1(珠洲市奥能登国際芸術祭推進室内)
TEL：0768-82-7720 FAX：0768-82-7727 E-mail：press@oku-noto.jp
公式WEBサイト oku-noto.jp
Facebook <https://www.facebook.com/okunotojp>
Twitter <https://twitter.com/okunotojp>
instagram <https://www.instagram.com/okunotojp>

